

(仮称) 台東区自転車活用推進計画に関する意見交換会 会議録

第1回	
日 時	令和7年5月28日(水) 14:30~15:10
場 所	台東区役所 10階 1002会議室
出席者	【会 長】大森委員 【委 員】稲垣委員、丸委員、五十嵐委員、三宅委員、飯沼委員、古谷委員、中居委員(片瀬課長代理が代理出席)、原田(裕)委員、熊倉委員、早津委員、小林委員、今村委員、原田(幸)委員、小柴委員、下竹委員、寺田委員、原島委員 【事 務 局】交通対策課:清水課長、日和佐係長、斉藤主任
議 事	(1) 計画策定の背景と目的について (2) 自転車を取り巻く現状と課題について (3) 計画の方向性について (4) 自転車ネットワークの考え方について (5) 計画策定までのスケジュールについて
配布資料	資料1 計画策定の背景と目的について 資料2 台東区の自転車を取り巻く現状と課題について 資料3 計画の方向性について 資料4 自転車ネットワークの考え方について 資料5 計画策定までのスケジュールについて 参考資料1 基礎調査報告書 参考資料2 基礎調査報告書(概要版) 参考資料3 意見交換会委員名簿 参考資料4 意見交換会設置要綱
会議内容	
1. 開会 【事務局】 自転車走行時のヘルメット着用が努力義務となり、令和8年4月からは自転車運転者の交通違反に対する交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)が開始されるなど自転車を取り巻く環境は大きな転機が続いており、シェアサイクルの普及など利用方法やニーズの多様化も起きている。その中で自転車の利用を推進していくためには、利用環境の整備、利用者の交通ルールやマナーの向上など、多くの課題解決が必要となっている。 今回策定を進める「台東区自転車活用推進計画」において、安全で快適な自転車活用の計画的な推進に向けた様々な分野の課題について検討す	

るため、本意見交換会で各分野の意見をいただきたい。意見交換会は今年度全4回を予定している。

2. 委員紹介（省略）

3. 会長選出

【事務局】 本意見交換会の会長について意見交換会設置要綱に基づき委員の互選により選出することとなっている。推挙はあるか。

【委員】 宇都宮大学教授の大森委員は、台東区の地域公共交通会議の委員を務めて、台東区の交通事情に非常に精通している。また23区の他の自治体の自転車活用推進計画策定の検討委員の経験もあると聞いており、本意見交換会の会長として適任と思うため、推薦する。

【事務局】 寺田委員から大森委員を会長に推挙する発言があったが、どうか。
（※委員から拍手、賛同の声あり）

4. 会長挨拶

【会長】 大学で交通計画を専門に教育研究を行っており、台東区では次期公共交通会議やバリアフリーの計画に関与している。自転車では、東京都中央区、立川市、さいたま市等の自転車活用推進計画の策定に関わっており、それらの経験も活かして、良い台東区の自転車活用推進計画ができるよう、委員の皆様と協力して協議していきたい。

5. 議事

【会長】 まず初めに本意見交換会は公開となっており、本日申し出のある傍聴願いについては許可をしたいがよいか。

（※委員から異論なし）

それでは傍聴者の方は許可をする。

会議資料および会議録についても原則公開となる。

(1) 計画策定の背景と目的について

【事務局】（資料1について説明）

【会長】 ただいまの説明について、意見や質問等があれば挙手をお願いしたい。

（※委員から意見・質問等なし）

(2) 自転車を取り巻く現状と課題について

【事務局】(資料2について基礎調査報告書(概要版)で説明)

【会長】ただいまの説明について、意見や質問等があれば挙手をお願いしたい。
(※委員から意見・質問等なし)

(3) 計画の方向性について

【事務局】(資料3について説明)

【会長】ただいまの説明について、意見や質問等があれば挙手をお願いしたい。
(※委員から意見・質問等なし)

(4) 自転車ネットワークの考え方について

【事務局】(資料4について説明)

【会長】自転車ネットワーク計画について、シェアサイクルや駐輪場の話が出ていたが、台東区の考え方として、自家用保有の自転車とシェアサイクルとの使い分けは、誰がどのように使うことを想定しているのか。台東区には観光客や訪日外国人も多いと思う。

【事務局】シェアサイクル事業者と協定を締結した際は、区内の自転車の総保有台数を減らすという目的が一つあったが、令和2年のコロナの時期に自転車が非常に増え、自転車の保有台数についてはあまり減少が見られていない。一方でシェアサイクルの利用については、観光客が利用している状況もあり、様々な目的で利用が広がっていると考えている。

【会長】主要な駐輪場やシェアサイクルのポートの設置についてはどのような考えなのか。どこでもいいからできるだけ増やすとか、こういう場所には作らないようにしようとか、何か方針があるか。

【事務局】現状は利便性の向上のため、できる限りポートは増やしたい。
(※区が提供するの公有地ポートのみであり、民有地ポートの設置は各事業者の地権者との交渉によるもの)

【会長】ネットワークや基幹路線を考慮し、すべての道路を自転車のためのものにするのはしない方がよい気がする。歩行者にとって、また自転車にとってなど、それぞれに役割分担があると思うため、どこでもいいからできるだけたくさんシェアサイクルを置こうというのは少し考えた方がよいと思う。今後その辺りも是非検討して欲しい。

【会 長】 そのほかに意見や質問等があれば挙手をお願いしたい。

(※委員から意見・質問等なし)

(5) 計画策定までのスケジュールについて

【事務局】 (資料5について説明)

【会 長】 ただいまの説明について、意見や質問等があれば挙手をお願いしたい。

(※委員から意見・質問等なし)

6. その他

【事務局】 台東区として実施していく具体的な施策の検討や、ネットワーク計画案を作成していくにあたり、自転車や通行空間に関する関係者の考え方を把握したい。今後、担当者への相談やインタビュー等を実施したいため協力をお願いしたい。

第2回の意見交換会は8月上旬頃を予定している。

7. 閉会

以上